



安倍・自民、橋下・維新の 暴走政治と対決 コータロー

「慰安婦制度は必要だった」(維新・橋下
共同代表)、「国防軍をつくる」(安倍首相)
——日本を再び侵略戦争の時代に引
き戻すような発言があいついでいま
す。たつみコータローは、こんな暴走
政治を打ち破ります。

暴言の根っこ—— 侵略戦争の正当化

「慰安婦制度は必要だった」という維新の橋下共同代表
のとんでもない発言に、もう一人の共同代表である石原氏
も、「基本的に間違っていない」。安倍首相も「立場は違う」
というだけで、発言内容を否定しませんでした。

これらの根っこにあるのが、過去の侵略戦争を正当化し
ようという狙いです。

9条を生かした 平和外交の先頭に

侵略戦争と植民地支配の真剣な反省のうえに、うちた
てたのが「戦争はしない」「軍隊はもたない」と決めた憲法
9条です。

これをつらぬいた平和外交でこそ、アジアと世界から日
本への信頼が築けます。

コータローは憲法の全条項を守り抜き、9条を生かした
平和外交の先頭に立ちます。

自民・維新が「改憲連合」

橋下・維新の会は、安倍・自民党と手を組んで憲法を変
えるため、「参議院で3分の2以上を」と叫んでいます。

そのターゲットは9条です。そして、憲法を変えやすくする
ために、まず96条改悪を訴えます。しかし、それは「国民が
権力を縛る」という憲法の性格そのものを変質させるもの
です。



「慰安婦は必要だった」——

橋下発言に国内外から批判続出

「銃弾が雨嵐のごとく飛び交う中で
命をかけて走っていくときに、精神的
にも高ぶっている猛者集団をどこか
で休息させてあげようと思ったら、慰
安婦制度は必要なのは誰だってわ
かる」(維新・橋下共同代表 5月13日、大阪市役所内で)



(アメリカ政府当局者)

「発言は言語道断で侮辱的なものだ」

(韓国外務省)

「今回の発言は女性の尊厳を冒瀆し、歴史を歪曲
し、反人道的な犯罪を擁護しようとする内容だ」

(琉球新報)

「彼に何より足りなかったのは人権感覚だ。
人間認識の根本的な誤りに気付いていない」

慰安婦
問題とは

旧日本軍が朝鮮半島などから多数の女性を動員し、
「性奴隷」として「売春」を強制した許し難い戦争犯罪。
日本政府は1993年になってようやく「慰安婦」問題
について国の関与を認め、謝罪しました(河野洋平官房
長官談話)。これを安倍政権や橋下市長らは「強制はな
かった」などと「見直し」を求める動きを強めています。

コソボの高校生たちと広島へ



コソボ、9・11テロ 反戦平和を胸に刻むコータロー

たつみコータローは、北野高校を卒業
後、単身渡米。帰国後、国連ボランティアと
して、コソボ(当時のユーゴスラビア)にいる高
校生の「日本招聘(しょうへい)プロジェクト」
事務局長として活動します。

そのときに9・11同時多発テロが起きま
した。アメリカによるアフガニスタン攻撃を
目の当たりにしたコータローは、「武力は憎

しみの連鎖しか生まない」と強く胸に刻み
ます。

そして02年、戦前以来の日本共産党の
歩みを知り、入党。反戦平和の歴史を受け
継ぎ、アメリカで世界各国の若者と交流し、
互いの歴史を見つめあった経験も生かし、
憲法擁護、沖縄基地撤去などの活動の先
頭にたっています。



沖縄にて、アメリカ軍の基地を視察。
辺野古座り込み、そして高江のヘリパッド建設反対の
連帯行動に参加。

国民のための政治をしてくれる

若くて、行動力があって、何事にも真摯で! 大好
きです。なんとしてもコータローさんに国政をかえる
ために頑張ってください。

憲法・原発・外交、そして子育てと、問題が山積。
平和な生活が脅かされている今こそ、国民の意見を
聞き、国民のための政治をしてくれる政治家が国を
動かしていかないと、日本が崩壊してしまいます。

「世界から戦争をなくしたい!」と日本共産党に入
り、奮闘してきたコータローさんだからこそ、国民の
ための政治ができると思うのです。



子育てママ
(北区在住)
安居 裕子さん